

平成30年度全国学力学習状況調査結果について

爽秋の候 皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

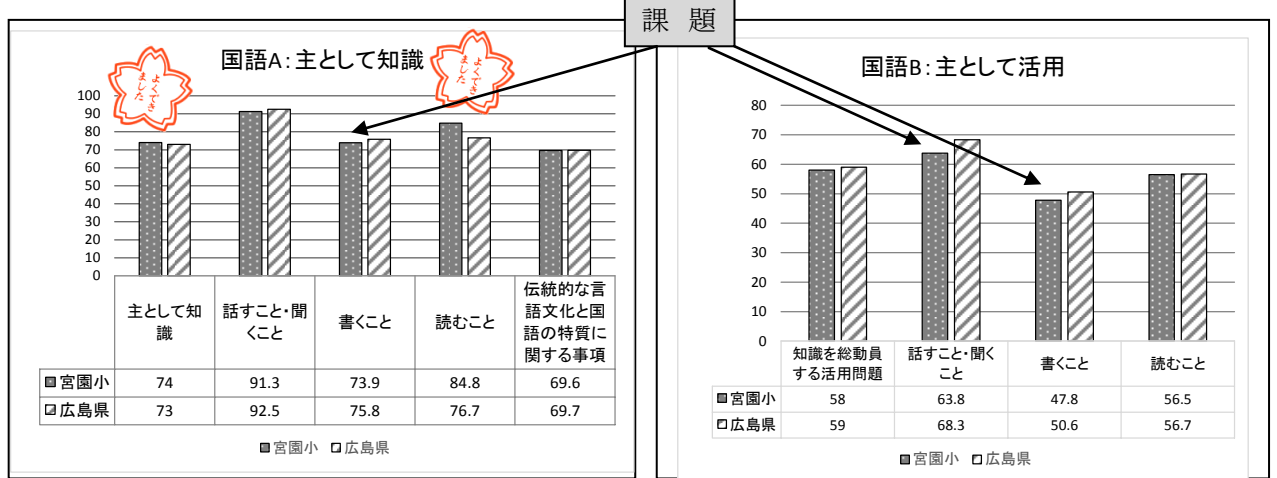
平素より、本校教育活動に際し、温かいご支援・ご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、今年度も、全国の全ての6年生児童を対象に全国学力学習定着状況調査(4月17日実施)が行われました。昨年度同様、基礎的・基本的な問題に加えて、これまでの知識を総動員させて考えなければ答えられない活用問題がありました。

以下に、本校の結果や今後の取組をお知らせいたします。これらの結果を参考にして、全ての学年で指導事項を再確認し、指導していきます。

なお、具体的な取組(改善計画)等の詳細は、ホームページに掲載します。

国語



○A 知識問題の全体の平均通過率は県平均を超えていることから、おおむね定着していると考えられる。

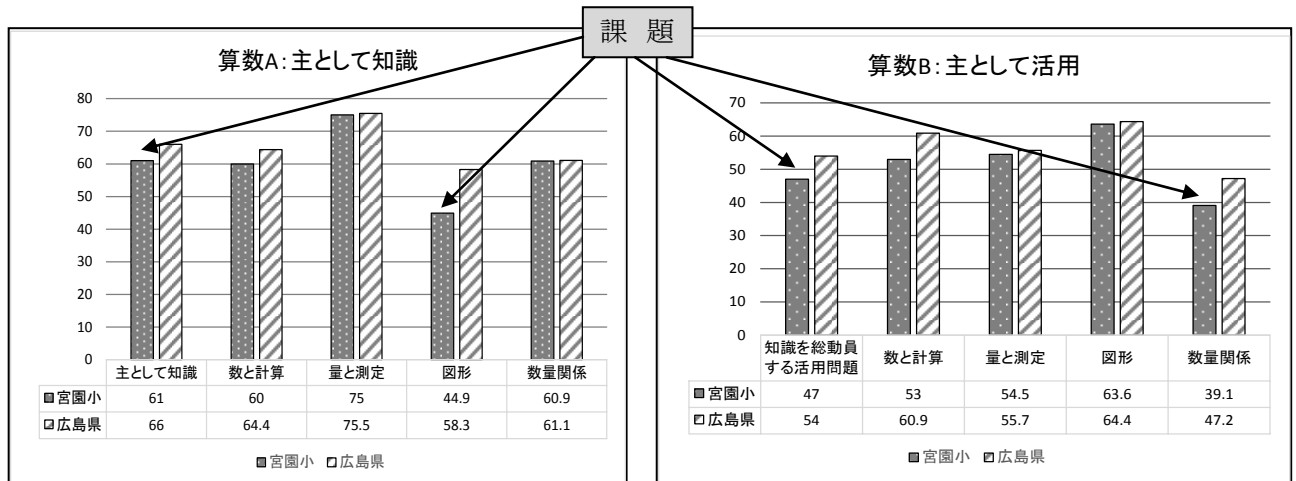
○A 知識問題の読むことに関する領域は、県平均の+8ポイント。

●A 知識問題 B 活用問題の書くことの通過率が県平均に比べて低い。

●B 活用問題の話すこと・聞くことの通過率が県平均より大きく下回っており、課題がある。

領域等	解答の状況(重点課題)	今後の取組
書くこと 知識を総動員する活用問題	<ul style="list-style-type: none"> ● 「書くこと」に関する中でも、「目的や意図に応じて内容を詳しく書くこと(人の意見を聞いて自分の意見を述べたり条件に合わせて文章を書いたりする)」に課題。 ● 話し手の意図を捉えながら聞き自分の意見と比べて考えをまとめることに課題。様々な情報の中から必要な情報を取り出した上で、それらに関連付けて書くことが不十分。 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 条件に合わせて文章を書かせる経験をさせます。振り返りでは、人の意見を聞いてそれを基に自分の意見を述べるなど条件を与えて文章を書かせることを授業の中で取り組みます。 ※ 多くの情報の中から必要なことを読み取る問題に取り組みます。複数の資料を読み比べることを授業の中で取り入れます。

算数



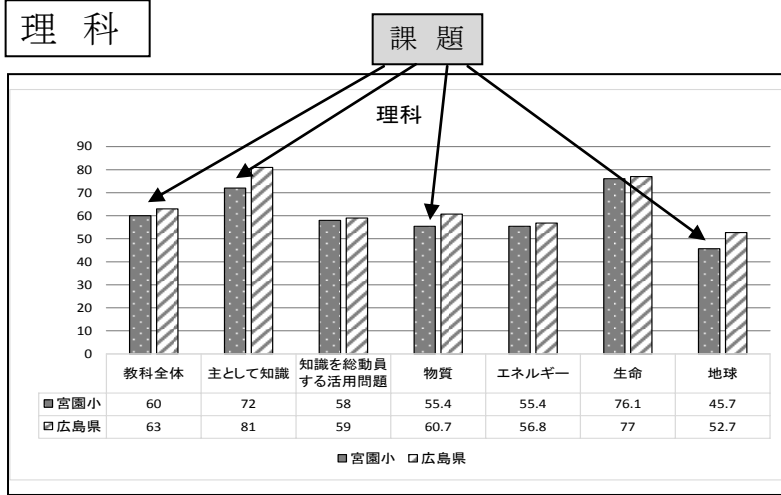
●教科全体の通過率は県平均より下回っており、基礎的・基本的な内容の定着、活用問題に課題があると考えられる。

●A 知識問題の「図形」領域は、県平均を下回っており、課題がある。

●B 活用問題の通過率が60%を下回っており、課題がある。

領域等	解答の状況（重点課題）	今後の取組
「図形」領域 知識を総動員する活用問題	<ul style="list-style-type: none"> ● 円周率の意味や直径の長さや円周の長さの関係についての理解に課題。 ● 示された考えを解釈し、条件を変更して数量の関係を考察し、表現したり、記述したりする力が不十分。 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 円周を求める公式を覚えるだけでなく、公式を変形させて円周率や直径を求める経験をさせます。問題を考えるときに、簡単な数字を当てはめて考えると分かることを授業の中で経験させます。 ※ 自分の考えを説明する場面では、根拠を説明させたり、ノートに書かせたりする習慣をつけます。教科書の説明問題を使って、「例文に沿って説明する方法」「2つのやり方のうちどちらかを選んで説明する方法」「途中まで書かれている説明の続きを考える方法」で説明を書かせる経験を増やします。

理科



●教科全体の通過率、知識問題の通過率は県平均より下回っており、基礎的・基本的な内容の定着に課題があると考えられる。

●「地球」領域の通過率は県平均より下回っており、課題がある。

●「物質」領域の通過率も県平均より下回っており、課題がある。

領域等	解答の状況（重点課題）	今後の取組
物質 地球	<ul style="list-style-type: none"> ● 粒子に関する基礎的な知識と実験結果からどのようなことが言えるかを考える力が不十分。 ● 水の働きや基礎的な知識と、その原因についての理解が不十分。 	<ul style="list-style-type: none"> ※ まずは基礎的な知識を身に付けさせます。その際に、実験や観察を通じた実感に伴う理解をさせます。 ※ めあてに対するまとめ、結果に対する考察など、物事を関係付け、科学的に考える力を身に付けさせるために、自らまとめや考察を書かせる経験を増やします。

生活と学習に関する意識について

	成果	課題	今後の取組
生活	○ 朝食を毎日食べると回答した児童の割合が多い。	● 毎日、同じ時刻に寝ている児童、毎日、同じ時刻に起きている児童の割合が低い。	※ 不規則な生活の原因をアンケートにより明らかにし、結果に基づき不規則な生活がもたらす弊害やメディアの使用方法についての指導を行います。ご家庭でのご協力よろしくお願ひします。
学習	○ 家で学校の宿題をしている、どちらかといえばしていると答えた児童が100%である。家庭学習の習慣がついている。 ○ 地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと回答した児童の割合が多い。	● 理科の勉強が好き、どちらかといえば好きと答えた児童の割合が低い。	※ 理科の授業で、見通しを持って観察、実験などを行い、その結果を基に考察し、結論を導き出すなどの問題解決学習の充実を図ります。

